

2023-24年度のための地区研修・協議会

第2部 部門別協議会

ロータリー財団部門

日 時 : 2023年4月8日 (土) 15:30~17:00
会 場 : 大阪国際会議場 12階 1202号室
司 会 : 地区ロータリー財団委員会委員 木本辰也
(敬称略)

次 第

| | | | |
|---|-----------------|---|-------|
| 1 | 挨拶 | パストガバナー 第3地域 ロータリー財団 地域コーディネーター補佐 | 四宮 孝郎 |
| 2 | ロータリー財団と補助金について | 財団委員会 委員長 | 村橋 義晃 |
| 3 | ポリオ根絶について | ポリオ・プラス小委員会 委員 | 北口 竜輔 |
| 4 | 財団寄付と認証について | 資金推進小委員会 委員 | 川上 哲司 |
| 5 | 財団補助金の管理について | 資金管理小委員会 委員長 | 相馬 康人 |
| 6 | 財団奨学金制度について | 奨学金小委員会 委員 | 渡邊 徹 |
| 7 | 質疑応答 | | |
| 8 | 閉会 | | |

◆ 配布資料一覧 ◆

| | |
|-----------------|-----|
| ロータリー財団と補助金について | 資料① |
| ポリオ根絶について | 資料② |
| 財団寄付と認証について | 資料③ |
| 財団補助金の管理について | 資料④ |
| 財団奨学金制度について | 資料⑤ |



2023-24年度のための 地区研修・協議会【ロータリー財団部門】

「ロータリー財団と補助金について」

2023年4月8日

RID2660 2023-24年度
地区財団委員会 委員長
村橋 義晃 / 大阪中之島RC

是非とも知っておいて頂きたい「本日のポイント」

- ① ロータリー財団の「定義」と「使命」
- ② RID2660ロータリー財団補助金「重点施策」
- ③ RID2660中期3ヶ年目標と年次目標
- ④ ロータリー財団補助金の原資（シェアシステム）
- ⑤ ロータリー財団「補助金の種類」
- ⑥ 地区補助金利用「スケジュール」
- ⑦ RACのための財団補助金「活用情報」
- ⑧ RID2660地区財団委員会「活動と役割」



ロータリー財団章典に定められた「定義」と「使命」

ロータリー財団の定義

Definition of The Rotary Foundation

ロータリー財団は、ロータリークラブおよび地区を通じて実施され承認された人道のおよび教育活動を支援するための寄付を受け資金を配分する非営利団体である

ロータリー財団の使命

The Rotary Foundation Mission Statement

ロータリー財団および国際ロータリーの使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、**環境保全**に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できる様支援することである（仮訳）



RID2660 ロータリー財団補助金利用の重点施策

2023-24年度（延原ガバナー年度） 財団補助金利用の重点施策

「戦争で傷ついた人への人道的支援」

「コロナ禍で傷ついた子供や若者への支援」

（心の健康向上につながる支援）

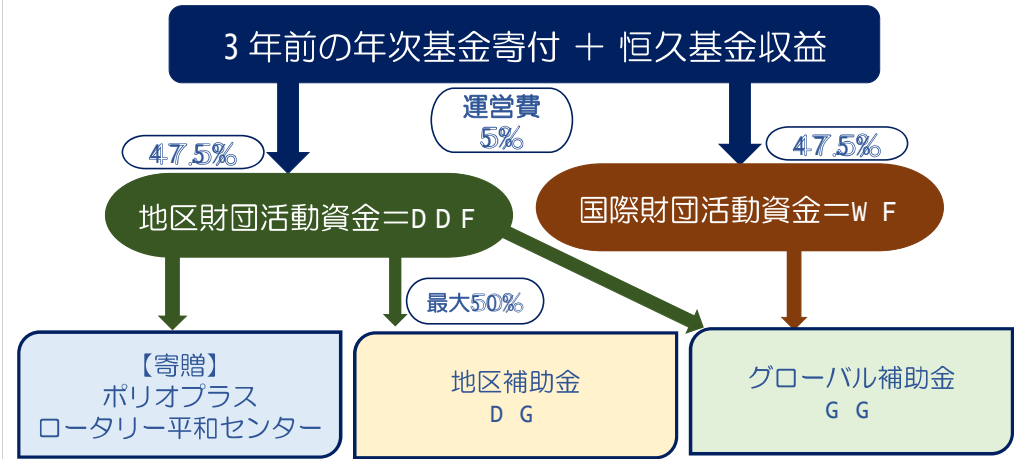


地区中期3ヶ年目標（2022-23～2024-25）と年次目標

- 地域調査に基づいた
 持続可能でインパクトをもたらす奉仕の強化
 年次目標：財団補助金活動を増やす
年次基金寄付 \$150/会員
- ポリオ根絶のためにアドボカシー活動と
 ファンドレイジングの推進
 年次目標：世界ポリオデーに活動する
ポリオ・プラス寄付 \$50/会員
- ロータリーの活動を末永く支えるための基金寄付の推進
 年次目標：恒久基金寄付 \$30/会員



ロータリー財団補助金の原資（シェアシステム）

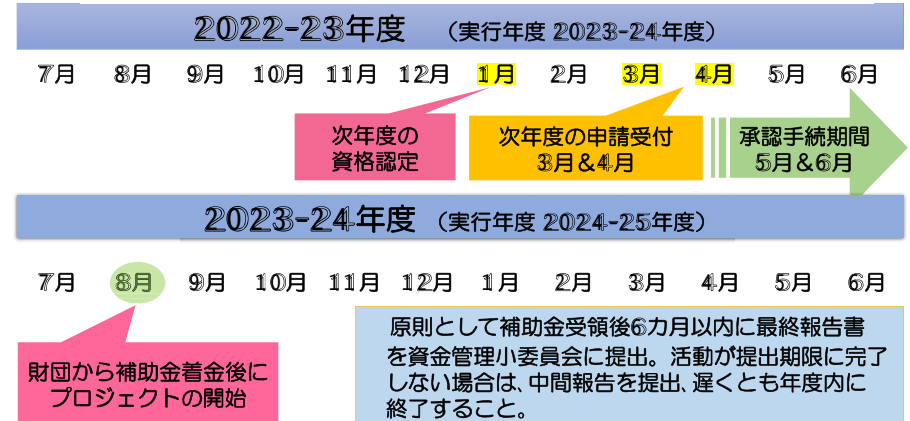


ロータリー財団の「補助金の種類」

| 地区補助金 | | | グローバル補助金 | 大規模プログラム補助金 | 災害救援補助金 |
|---|--|---|----------|---|---------|
| 人道奉仕 | 奨学金 | 職業研修 | | 人道奉仕 | 災害復興支援 |
| <ul style="list-style-type: none"> 社会奉仕 国際奉仕 小規模および短期 地区が管理し配分 年度内申請1件 申請期間3～4月 | <ul style="list-style-type: none"> 国際奉仕 ロータリーのある国 \$30,000以上 7重点分野 持続性が必要 通年随時申請 | <ul style="list-style-type: none"> 国際奉仕 3～5年の活動 \$200万ドル以上 毎年1口（競争制） 6重点分野 持続性 世界競争制 | | <ul style="list-style-type: none"> 社会奉仕 被災地区が申請 \$25,000以下 | |

地区補助金の「スケジュール」

地区補助金 = 2年度制の補助金（計画年度・実行年度）



RACのためのロータリー財団補助金の活用情報



➢2023-24年度以降ロータリークラブの申請要件と同様に前年度寄付実績が申請要件となります、今年度中にクラブ又は個人からの寄付合計額が100ドルに達したクラブ贈られる「ローターアクト寄付達成証」が必要になります

➢ロータリー会員は財団補助金の恩恵を受けることは、認められていませんがローターアクターは例外として財団奨学金（グローバル奨学生、平和フェロー）の受給権利が認められます、RACの友人・知人の応募も可能です

RACのための地区補助金申請要件(DG)



地区補助金配分額（2022年3月から申請可能）

| 活動の種類 | プロジェクト総額 | クラブ負担額 | 地区補助金 |
|--------|----------|----------------|-----------|
| 社会奉仕活動 | 20万円以上 | 地区補助金申請額の10%以上 | 18万円～30万円 |

RACのためのグローバル補助金申請要件(GG)



グローバル補助金申請要件と地区財団活動資金（DDF）配分額 （2022年7月から申請可能）

| | | |
|---------------------|--|------|
| 提唱者 | ・実施国または援助国の代表提唱者のいずれかは、ロータリークラブまたは地区であること。 ・提唱RACは、過去ロータリークラブのグローバル補助金活動に協力した経験があること。 | 財団要件 |
| 活動 | 人道的国際奉仕活動 | |
| プロジェクト総額 | 30,000ドル以上 | 地区要件 |
| DDF申請額 | 17,000ドル以下 | |
| RAC拠出金 (代表提唱クラブ) | 400ドル以上 | |

RID2660 地区財団委員会の活動と役割

- 年次寄付目標の達成と全クラブの参加（ゼロクラブをゼロに）
「年次基金寄付」「ポリオ基金寄付」「恒久基金寄付」
- ポリオ根絶への理解を深めるための活動
- 財団補助金活用推進と適正な補助金管理のためのクラブサポート
- RACの財団補助金活用とロータリー財団活動への理解と啓発
- 財団グローバル奨学生事業について理解と啓発





ご清聴ありがとうございました

ロータリー財団へのご理解とご協力をお願い申し上げます

2023-24年度 のための
地区研修・協議会
【ロータリー財団部門】



【ポリオ根絶】

ロータリーの最優先項目

- ・ポリオとは？
- ・ポリオを根絶する理由
- ・ポリオ根絶の為にやるべき事

2023年4月8日（土）
地区財団委員会 ポリオプラス小委員会
北口竜輔／大阪中之島ロータリークラブ



2023年メルボルン国際大会でのゴルフコンペ

5月26日（金）

2022年全豪オープンの舞台となった
ビクトリア・ゴルフ・クラブにて
開催されるゴルフコンペでの純益は
ポリオ根絶キャンペーンに寄付されます。
参加費用：550豪ドル



ポリオ根絶は『ロータリーの最優先項目』であり、
『世界中の子ども達へのロータリーの約束』です





ポリオとは？

2023年2月28日現在のポリオ

【野生株におけるポリオ症例数】

| | 2023 | 2022 | 2021 | 2020 | 2019 | 2018 |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| 常在国 | | | | | | |
| パキスタン | 0 | 20 | 1 | 84 | 147 | 12 |
| アフガニスタン | 0 | 2 | 4 | 56 | 29 | 21 |
| 非常在国 | | | | | | |
| モザンビーク | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| マラウイ | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 世界合計 | 0 | 30 | 6 | 140 | 176 | 33 |

【ワクチン由来ポリオ症例数】

| | 2023 | 2022 | 2021 | 2020 | 2019 |
|------|------|------|------|------|------|
| 常在国 | 0 | 0 | 51 | 443 | 22 |
| 非常在国 | 4 | 581 | 647 | 675 | 356 |
| 世界合計 | 4 | 581 | 698 | 1118 | 378 |

⇒ポリオが完全に根絶されるまで、すべての国は輸入の危険にさらされたままであり、すべての子ども達をポリオから守るために高い予防接種を維持しなければなりません。



ポリオとは？

◆ポリオ（急性灰白髄炎）とは？

ウィルス感染によって発症する病気で、その感染性は高く、特に感染しやすいのは5歳以下の子供である為「小児まひ」とも呼ばれています。汚染された水、食べ物、排泄物を介して人から人へ感染し、神経系を侵すことで身体のみひを引き起こし、死に至らしめることもあります。治療法はありませんが、ワクチンで予防が可能で、他の多くの疾病とは異なり、**根絶が可能**です。日本では1960年に大流行、1980年を最後に症例はありませんが、海外からポリオウィルスが入る可能性がある為、いまだに乳児へのポリオ予防接種が行われています。



ポリオとは？

麻痺を来した
子供たち



ポリオ・プラスとは？

◆ポリオ・プラスの『プラス』とは？

子供が感染しやすく致死率が高い感染症（はしか・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風）にポリオが加わった（プラスされた）



ポリオ根絶の取り組みにより築かれたインフラやファンドレイジングとアドボガシーのノウハウ（遺産）を他の疾病対策に生かしていくことも意味する ⇒ **新型コロナウイルスへの対応と拡大抑止にも活用**

『プラス』にはすべての感染症根絶の願いが込められています



経口（生）ワクチンと不活化ワクチン



- ◆ 『生ワクチン』には病原性を弱めたウイルスが入っている。
→二次感染の危険性
- ◆ 『不活化ワクチン』は、不活化した（殺した）ウイルスからつくられている。免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性を無くしてつくったもの。→二次感染しない
- ◆ 我が国では2012年から生ワクチンの定期予防接種は中止され、不活化ワクチンの定期接種が導入された。



経口（生）ワクチンと不活化ワクチン



| | 経口生ワクチン | 不活化ワクチン |
|-----------|-------------|------------|
| 値段 | 安い（113円） | 高い（5,019円） |
| 接種回数 | 2回 | 4回 |
| 接種技術 | 素人でも可能 | 医療技術者 |
| 免疫力獲得 | 獲得しやすい | 獲得しにくい |
| ワクチンからの感染 | あり | なし |
| 使用すべき状況 | 大規模流行～小規模流行 | 散発期～終息期 |



ポリオを根絶する理由



- ◆ ポリオ根絶はロータリーの最優先項目です
〈ポリオを根絶する5つの理由〉
 - I. 人々の生活の向上
 - II. 未来への投資
 - III. 子どもの健康を向上
 - IV. 医療費の削減
 - V. 歴史をつくる



ポリオを根絶する理由



I. 人々の生活の向上

根絶活動のおかげで、身体まひにならずにすんだ人の数は1900万人、命を落とすことのなかった人の数は150万人に上ります。



ポリオを根絶する理由

Rotary
District 2660



II. 未来への投資

ポリオが根絶されなければ、今後10年間に、毎年20万人の子どもが身体まひになる可能性があります。ポリオの根絶は、すべての子どものためにより健康な世界をつくることです。



ポリオを根絶する理由

Rotary
District 2660



III. 子どもの健康を向上

ポリオ根絶のサーベイランス（監視）や予防接種活動では、ビタミン欠乏やはしかといったほかの健康問題の検査も行われるため、いち早く対応できます。



ポリオを根絶する理由

Rotary
District 2660



IV. 医療費の削減

世界的なポリオ根絶活動により、1988年以来すでに、270億ドルの医療費が節約されています。2050年までに、さらに140億ドルが節約されると予測されています。



ポリオを根絶する理由

Rotary
District 2660



V. 歴史をつくる

ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。



ポリオ根絶のためにやるべきこと



◆ポリオ根絶のためにやるべきこと

- I. 認識の向上
- II. 情報を発信
- III. イベントを実施
- IV. 政府へのはたらきかけ
- V. 寄付



ポリオ根絶のためにやるべきこと



I. 認識の向上

行動し、推進力となってクラブと地域社会に参加を

呼びかけてください

※学ぶ：「ポリオってどんな病気？」 「なぜ根絶が必要？」



ポリオ根絶のためにやるべきこと



II. 情報を発信

ソーシャルメディアで情報を発信し、世界が協力することの
大切さを伝えてください

※シェアする：友人や知人、大勢の人に大切さを伝えてください



ポリオ根絶のためにやるべきこと



III. イベントを実施

世界ポリオデー（10/24）や可能な時に、イベントや募金を
行ってください

※寄付・募金活動



ポリオ根絶のためにやるべきこと



IV. 政府へのはたらきかけ

ポリオ根絶への支援を行政にはたらきかけてください



ポリオ根絶のためにやるべきこと



V. 寄付

ポリオ根絶の実現には**資金が必要**です。

- 毎年4億人以上の子どもへのポリオ予防接種
- ウィルスを検知するためのサーベイランス（監視）の向上
- 15万人以上の保健従事者の雇用
- 交通手段、広報活動費用、研修 etc.

※ロータリーがポリオ根絶のために集める寄付に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍額を上乗せします（毎年5000万ドルまで）



最後に・・・



人類と感染症との闘いのためポリオ・プラスプログラムのレガシーを！

ポリオに **\$50** の寄付をお願いします！

— ポリオ寄付「ゼロ」クラブを「ゼロ」に！ —

2023-24 年度のための
地区研修・協議会
第2部 部門別協議会ロータリー財団部門

財団寄付と認証について

地区ロータリー財団 資金推進小委員会
委員 川上 哲司/大阪天王寺RC

本日、皆様にお伝えしたいこと！

1. 財団寄付の地区目標について
2. 財団寄付の認証について
3. 財団寄付の方法と優遇措置について
4. ロータリー・クレジットカードについて
5. 本日のまとめ

1. 財団寄付の地区目標

| 寄付の分類 | 目標 |
|--|-------------------|
|  年次基金寄付 | ➡ 150ドル以上/会員一人あたり |
|  ポリオプラス基金寄付 | ➡ 50ドル以上/会員一人あたり |
|  恒久基金寄付 | ➡ 30ドル以上/会員一人あたり |

1. 財団寄付の地区目標

| 寄付 | 概要 |
|-------------|---|
| 年次基金寄付 | 3年間運用された後、国際財団活動資金と地区財団活動資金に等分され、クラブが実施する地元や海外における奉仕活動を支える主な資金源です |
| ポリオプラス基金寄付 | 全ての子供にポリオ予防接種を行うために生かされ、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から2倍の上乗せの対象となります |
| 恒久基金寄付 | 基金は投資され元本は支出されることはなく、利用可能な収益の一部が財団プログラムを恒久的に支えます |
| ロータリー災害救援基金 | クラブや地区による災害救援活動や復興活動に生かされます |

1. 財団寄付の地区目標

《クラブ寄付実績に基づく補助金額》 (注) ポリオと恒久基金への寄付は含まれません!
当地区と日本の年次基金寄付目標額は、一人当たり 150 ドルです。

| 前年度年次基金寄付実績 | 補助金 |
|-------------|---------------|
| 99 ドル以下 | 基本補助金額 × 80% |
| 100~149 ドル | 基本補助金額 × 90% |
| 150 ドル以上 | 基本補助金額 × 100% |

《プロジェクト総予算が 50 万円の場合、補助金計算例》

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 前年度年次基金寄付が… | |
| 99 ドル以下 | : (50 万円×50%) × 80%=200,000 円 |
| 100-149 ドル | : (50 万円×50%) × 90%=225,000 円 |
| 150 ドル以上 | : (50 万円×50%) × 100%=250,000 円 |

前年度の寄付実績が地区補助金の配分率に反映されます

2. 財団寄付の認証について

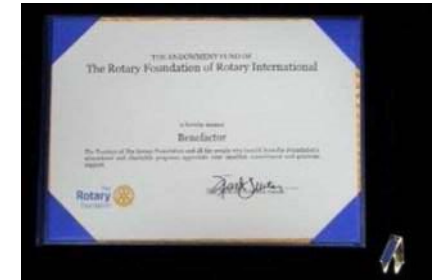
ベネファクター



| | | |
|---------|-----------|----------------|
| ベネファクター | \$1,000 ~ | 認証状と襟ピン (ウイング) |
|---------|-----------|----------------|

ベネファクターの認証は、恒久基金への寄付合計が \$1,000 に達した 1 回のみ贈られるものです。

2660 地区では 2019-20 年度から、
2 回目以降の寄付者には地区よりピンが
贈呈されます。



2. 財団寄付の認証について

ポール・ハリス・フェロー /
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



| | | |
|--------|-----------|-----------------|
| PHF | \$1,000 ~ | 認証状と襟ピン |
| PHF +1 | \$2,000 ~ | 襟ピン (サファイア 1 粒) |
| PHF +2 | \$3,000 ~ | 襟ピン (サファイア 2 粒) |
| PHF +3 | \$4,000 ~ | 襟ピン (サファイア 3 粒) |
| PHF +4 | \$5,000 ~ | 襟ピン (サファイア 4 粒) |
| PHF +5 | \$6,000 ~ | 襟ピン (サファイア 5 粒) |
| PHF +6 | \$7,000 ~ | 襟ピン (ルビー 1 粒) |
| PHF +7 | \$8,000 ~ | 襟ピン (ルビー 2 粒) |
| PHF +8 | \$9,000 ~ | 襟ピン (ルビー 3 粒) |

2. 財団寄付の認証について

メジャードナー / アーチ・クランフ・ソサエティ

ご寄付の分類にかかわらず累計額が 1 万ドル以上でメジャードナー、25 万ドル以上でアーチ・クランフ・ソサエティの認証が個人またはご夫妻に対して贈られます。

| | | |
|----------------|-------------|--------------------------|
| M D レベル 1 | \$10,000 ~ | クリスタルと襟ピン / ペンダント トップ |
| M D レベル 2 | \$25,000 ~ | |
| M D レベル 3 | \$50,000 ~ | |
| M D レベル 4 | \$100,000 ~ | |
| アーチ・クランフ・ソサエティ | \$250,000 ~ | |



2. 財団寄付の認証について

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、**年次基金/ポリオプラス**へ、一括もしくは合計で、**毎年1,000ドル以上のご支援を誓約**下さる個人の認証です。

寄付例 (オンライン定額寄付が便利です!)

- 年度内に少額にわけて寄付する
- 年に1回、\$1,000 一括にて
- 毎月\$84をクレジットカードにて



| 入会方法 | 概要 |
|-------|--|
| 入会申込書 | * PHS 推進用パンフレットの入会申込書に記入 |
| オンライン | * MyROTARYから 行動する⇒寄付者の認証⇒PHSメンバー⇒入会フォーム |

3. 財団寄付の方法と優遇措置について

| 方法 | 概要 |
|-------|---|
| 銀行振込 | <ul style="list-style-type: none"> * 寄付分類を決める * 寄付送金明細書を記入する * 寄付金を「公益財団法人ロータリー日本財団」に振り込む |
| オンライン | <ul style="list-style-type: none"> * MyROTARYで手続き (クレジットカード決済) * 税制上の優遇措置を受けるために、手続き画面で 国は日本、通貨は円を選択する |

3. 財団寄付の方法と優遇措置について

公益財団法人 ロータリー日本財団 (2010.12.24)

- * ロータリー財団の協力団体
- * 「特定公益増進法人」への寄付金として取り扱われ、**税制上の優遇措置**の対象

「**所得控除**」または「**税額控除**」

確定申告用領収証の発送時期 (所属クラブ宛)

7～12月分 翌年1月末

1～6月分 同年7月末



4. ロータリー・クレジットカードについて

カード利用金額に応じて、ポリオ根絶の活動資金を支援できます。2000年にこのプログラムが開始されて以来、既に860万米ドルが財団に寄付され、そのうち360万ドルが**ポリオ根絶活動**に役立てられました。

ダイナースクラブ・コーポレートカード

- クラブの預金口座を引落口座として指定することが出来る
- 事前一報で高額利用が可能 (1,000万円未満は不要)
- 年会費無料
- ロータリークラブの運営に利用できる



- 人頭分担金・世界大会 登録料
- 例会会場費支払い • 各懇親会支払 • その他

5. 本日のまとめ 財団寄付と目標額

| 寄付の分類 | 目標 |
|--|-------------------|
|  年次基金寄付 | ➡ 150ドル以上／会員一人あたり |
|  ポリオプラス基金寄付 | ➡ 50ドル以上／会員一人あたり |
|  恒久基金寄付 | ➡ 30ドル以上／会員一人あたり |

ご清聴、有難うございました！

皆様からの財団寄付が、
地域社会や世界での奉仕活動を支える
財源となります！

今後ともロータリー財団への御理解と御協力を
お願い致します！

2023年4月8日
R2660地区
地区研修・協議会



財団補助金の管理について

2023-24年度 地区財団委員会
資金管理小委員会 相馬 康人（八尾RC）



資金管理の意義

財団補助金は、みなさまからいただいた
寄付から拠出された**浄財**です。



資金管理の意義

従って、補助金を**効率よく**運用し、
受益者が受ける**恩恵を最大化**する
ことが望まれます。



資金管理の意義

効率化・恩恵最大化のためにすべきこと

- 中間団体経由によるロス防止
- 特定の受益者に偏らないこと
- 惰性化・既得化の防止
- 透明性を高めチェック可能に など

資金管理のアプローチ

- 中間団体経由によるロス防止

原則① ロータリー会員による直接調達

- 調達コスト・物品選定の最適化が望める
- 「協力団体にとって支援活動が容易になるもの」よりも、「受益者自身が助かるものを」

資金管理のアプローチ

- 特定の受益者に偏らないこと
- 惰性化・既得化の防止

原則② 継続的支援の禁止

- 持続的効果と受益者の自立
「魚を与えるのではなく、魚を釣る技術を与える」

資金管理のアプローチ

- 透明性を高めチェック可能に

原則③ ルール順守・報告書提出

- ルールは、過去に発生したトラブルを回避するための積み重ね
- 報告書作成は事業の振り返り・整理でもある

地区補助金における 透明性向上のためのルール（入出金）

- 必ず「補助金専用口座」から直接支払
- 事業開始は補助金着金後
（他の支出との混同を防ぐため）
- 補助金着金前に残高を0円にする
（同上）

地区補助金における 透明性向上のためのルール（報告書）

- 受益者の特定
- 費用明細の添付
- 通帳・領収書と報告書に対応する番号を付与
- 補助金着金から6カ月経過した場合
中間報告書を提出（通帳コピーも！）

地区補助金における 効率化・恩恵最大化のためのルール①

- 見積・領収書の宛先はクラブ名義、
発行者は業者名義でなければならぬ
（協力団体・受益者名義は不可）
- 協力団体・受益者への現金渡し禁止
（ロータリー会員が物品調達）

地区補助金における 効率化・恩恵最大化のためのルール②

- 協力団体の運営費支援の禁止
（既存のイベント支援も含む）
- 過大な講師費用の禁止
- 協力団体・発注先がロータリー会員の場合
そこを選択した根拠を申請時に明記

地区補助金における その他注意点

- 受益者の個人データ（氏名・年齢・
生年月日など個人が特定される情報）
または受益者の写真は添付しない
（国際ロータリーの広報ルール）

地区補助金における お願い

- 新型コロナの今後の予想が困難な中、
想定外の事態に備え、
事業着手・報告書提出を極力、前倒し
で行ってくださるようお願いいたします。

本来は一点一点、協力団体の信用力など事業内容を細かく見て妥当性を判断するのが望ましいですが、審査・報告承認を限られた時間で行わねばならない中、客観的な判断基準としてルールに頼らざるを得ません。

これを皆さんにも理解・順守していただけるよう、取りまとめたのが「財団補助金申請ハンドブック」。

参考資料について

【授与と受諾の条件】

2022年9月版が最新版

【財団補助金申請ハンドブック】

2022年9月版が最新版

※ 授与と受諾の条件は、
• 地区補助金用
• グローバル補助金用
の2種類が発行されています。

ご静聴ありがとうございました

2023-24年度のための地区研修・協議会
第2部：部門別協議会「ロータリー財団部門」

財団奨学金制度について

2023-24年度
地区ロータリー財団委員会
奨学金小委員会
渡邊 徹（大阪東RC）



本日の発表内容

1. ロータリー財団の奨学金プログラムについて
2. グローバル奨学金について
3. 平和フェローシップについて
4. 2660地区の奨学金プログラムの取組実績について



1. ロータリー財団奨学金プログラム

| 奨学金プログラム | 地区補助金 | グローバル補助金 | 平和フェローシップ |
|----------|--------------------------------------|--|---|
| 地区管轄委員会 | 補助金小委員会 | 奨学金小委員会 | 平和フェローシップ小委員会 |
| 奨学金授与額 | 40~120万円 ※申請クラブは半額以上の拠出金必要 | 30,000ドル以上 ※スポンサークラブは拠出金不要（当地区方針） | 修士号取得：100,600ドル(平均) 専門能力開発：11,400ドル(同上) ※TRF(ロータリー財団)から全額支給 |
| 資金調達先 | 地区財団活動資金(DDF) | 地区財団活動資金(DDF) 国際財団活動資金(WF) ※WFはDDF80%上乘せ | 国際財団活動資金(WF) |



7 重点分野

- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展
- 疾病予防と治療
- 平和構築と紛争予防
- 水と衛生
- 環境

ロータリー財団の補助金プロジェクトはこの
7重点分野に沿ったものであることが必須



2. グローバル(補助金)奨学金について

- ・ 応募資格 (①応募資格は当地区内に在住・在学・在職または本籍(日本国籍か永住権)があること、②学士号を保有していること、③海外大学院への留学が目的で7重点分野のいずれかに該当する分野を専攻すること)
- ・ 奨学金の授与期間は1年間
- ・ 授与条件として、他地区・他団体の奨学金と同時授与は不可(当地区方針)
- ・ 支給対象は、入学金・授業料・滞在費・渡航費等全額
- ・ スポンサークラブとホストクラブ(留学先)が代表提唱クラブとなって申請
- ・ 事業実施期間は、申請年と派遣年の2年間

※申請年度の会長と派遣年度の会長のコンセンサスが必要

※ロータリアンと直系家族、クラブ・地区の職員は応募不可

※代表提唱者1名と副代表提唱者2名が申請時に登録必要



奨学生候補者の選考方法

次年度選考

応募期間： 2023年9月1日～10月31日(8月中旬以降に地区HPに募集要項掲載)

最終選考日：11月中旬(応募者多数の場合、先に書類選考)

選考者： ガバナー、ガバナーエレクト、各代表幹事、地区ロータリー財団委員長、地区ロータリー財団各小委員会委員長、奨学金小委員会委員

選考条件

1. 留学先の大学院の入学許可証を入手できること。
2. 授業についていける語学力があること。
3. 大学院での専攻も含め7重点分野でキャリアを築くことを目標としていること。
4. 卒業後も地区ロータリー学友として地区やスポンサークラブと関係が継続できること。



3. 平和フェロシップについて

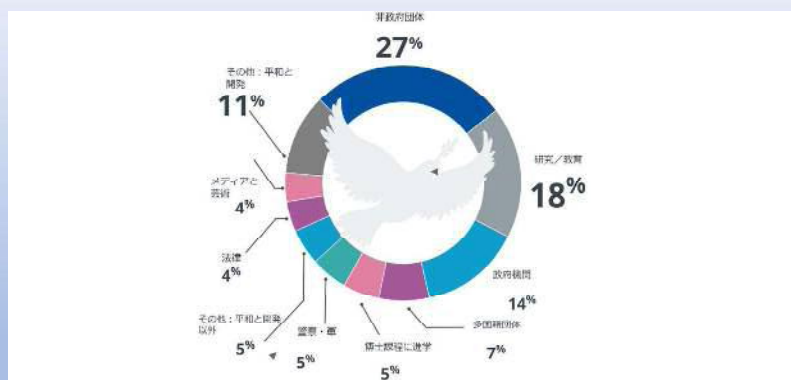
- ・ ロータリー財団が直接授与する平和と開発について学ぶ奨学金プログラム
- ・ ビジョン：平和活動家とリーダーのネットワークを通じた、持続可能な平和の構築
- ・ 入学金・授業料・滞在費・渡航費など全額支給
- ・ 修士号取得プログラム(15-24ヶ月)と専門能力開発修了証プログラム(約1年)から選択
- ・ 毎年最大130名(修士号50名まで、専門能力開発は80名まで)が世界選抜
- ・ 地区(クラブ)でフェロ候補者を募集、地区にて候補者の申請支援とロータリー財団への推薦を実施
- ・ ロータリー平和センター提携大学への留学(8大学と提携7箇所の平和)



ロータリー平和センターロケーション



ロータリー平和センター卒業生の進路



フェロー候補者の選考方法

次年度選考（2024-25年度派遣）

応募期間： オンライン申請締切2023年5月15日（7月1日地区推薦締切）

合否結果： 11月に地区と候補者に通知

申請資格

1. 英語に堪能であること
2. 学士号を保有し前回の学位取得プログラム（学士課程または大学院）の修了からフェローシップの開始予定日までの間に、最低3年間の期間が空いていること
3. 個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への専心を実証していること
4. 平和あるいは開発の分野において少なくとも3年のフルタイムの職歴を有していること（修士号）
5年のフルタイムの職歴を有していること（専門能力開発）
5. リーダーシップの素質を有していること（修士号）
スキルを実証していること（専門能力開発）



4.2660地区の奨学金プログラムの取組実績について

国際ロータリー第2660地区グローバル奨学生・平和フェロー派遣リスト

| 派遣年度 | スポンサークラブ | 氏名 | 奨学金 | 職種 |
|---------|----------|----------|--|-------------------------------------|
| 2005-06 | 英木東 | 井上 悦子 | オーストラリアクイーンズランド大学大学院政治国際学研究所 | 国際移住機関 (ICM) |
| 2013-14 | 大東 | 宮尾真梨子 | ミドルベリー国際大学院モントレール校 不協和とテロ研究 修士課程 | 日本IBM株式会社 |
| 2013-14 | 千童 | 福田 真弓 | ハーバード大学 公衆衛生学修士 | 国立感染症研究所データサイエンス部 室長 |
| 2014-15 | 大塚中之島 | 西山 彰 | トロント大学 言語およびリテラシー教育 | |
| 2015-16 | 地区 | 清原 宏之 | クイーンズランド大学 国際公衆衛生学修士 | |
| 2016-17 | 大塚南 | 大森 千尋 | ロンドン大学衛生熱帯医学大学院 | |
| 2017-18 | 大塚東 | 渡辺 菜 | ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS) | UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) コロンビア |
| 2017-18 | 大阪西青 | ハッチャー重孝斗 | ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスアンドポリティカルサイエンス 修士課程 | 在ジュネーブ国際機関 本政府代表部 |
| 2018-19 | 東大阪 | 高畑 大吾 | サセックス大学/理学修士 | 元INPDC (国連IPサーブス機関) ハリスチナー欧州機関に 所属中 |
| 2018-19 | 地区推薦 | 山口真穂子 | スウェーデンウプサラ大学ロータリー平和センター修士課程 | 外務省 国際協力局 |
| 2019-20 | 英木 | 上砂 考廣 | ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスアンドポリティカルサイエンス 比較政治学修士課程 | ケンブリッジ大学院 博士課程 |
| 2020-21 | 吹田 | 百葉 雄太 | シンガポール国立大学 リー・クワン・ユースクールオブポリシー修士課程 | IC(国際労働機関) |
| 2022-23 | 大阪中央 | 後藤 悠登 | ロンドン大学衛生熱帯医学 キングス・カレッジ・ロンドン グローバルメンタルヘルス修士課程 | 留学中 |



奨学金小委員会からのお願い

- ・ 自クラブにロータリーの奨学金や平和フェローシップの問い合わせがあった場合、奨学金小委員会までご連絡願います（ガバナー事務所内）
- ・ 2023-24年度グローバル奨学生候補者（24-25年度派遣）のスポンサークラブを自クラブで検討してみませんか？



ご静聴ありがとうございました。

